

第4回日進市一般廃棄物処理基本計画策定委員会運営部会

日 時 令和3年7月28日（水） 午前10時
 場 所 日進市役所4階 第3会議室
 出席者 小林部会長、原副部会長、井上委員、松原委員、山内委員、水野委員
 欠席者
 傍聴の可否 可
 傍聴の有無 有（5名）
 次 第 1 あいさつ
 2 議題
 目標項目、目標値及び施策について
 3 その他

発 言 者	内 容
	1 あいさつ
事 務 局	(あいさつ)
事 務 局	(資料の確認)
事 務 局	本日の定員について報告する。一般廃棄物処理基本計画策定委員会運営部会の定員6名に対して6名の出席で会議が成立することを報告させていただく。また会議は原則公開となる。それでは議長は会長が行うことになっている
部 会 長	(あいさつ)
事 務 局	傍聴人は5名である。会議は公開となっているので、よろしいか。
	(異議なし)
事 務 局	異議なしということで、傍聴人の入室を許可する。
部 会 長	それでは、議論を始めたいと思う。
	2 議題 目標項目及び目標値について
部 会 長	先に、目標項目を決めて、目標値を決めていきたいと思う。事務局より説明をお願いする。
事 務 局	(説明)
部 会 長	ここで意見をいただきたいと思う。目標1から4に加えて、新たに5, 6を加える案である。いかがか。
副 部 会 長	いままでの議論で、追加案として出てきたときに、何を意味するのか明確にすることが必要である。目標1というのはいわゆる、家庭系一般廃棄物の焼却部分ということか。そういう意味合いで考えていくと、目標5は、この中で、日常的に市民が燃えるごみとして出しているごみである。だから、日常的なライフスタイルがここに反映されるということと、粗大ごみは、非日常的な部分であるということがわかるようにするか、あるいは行動目標がいいのかわからないが、コメントが必要だと思う。事業系のごみの削減は、実績値はどうなっているのか。

発 言 者	内 容
事 務 局	実績値のデータはないが、紙については20%削減、事業系も20%削減ということで、設定している。
副 部 会 長	これは測れるのか。モニターできないといけない。そのあたりはどのようになっているのか背景を教えてください。統計などはあるか。
事 務 局	名古屋市や大阪市のデータを参考にしているが、ごみの20%がリサイクルとして出されているデータがある。
部 会 長	今は、項目の決定なので、事業系ごみのうち紙ごみが多いのか、少ないのか、可能なのかという観点から、多いのできちんとしましょうと考えて、事業系の中に紙があることが確認できているのであれば、次に目標値に設定する議論にしたいので、大阪など他の実績値を見るとたくさん紙ごみが入っているということを確認していることがあれば、これを目標値とするということになるので、まずそこまでの確認をしたいと思うがいかがか。
事 務 局	こちらの4月のデータを参考にすると、紙ごみはたくさん含まれているので、削減が必要だと考えている。
部 会 長	施策を立てることを統制するに、大きな削減の可能性があると判断ができるということである。
副 部 会 長	私が聞きたいのは、目標として立てるとい議論をしたときに、本当に減ったということがわからないといけない。事業系ごみ全体から、例えば1,104トンの削減のように考えればいい、ということが確認をしたい。中身は紙ごみの削減でいい。施策としてはそれでいい。今話を聞くと、事業系のごみの削減量しか追いかけていけないようであれば、事業系、一般廃棄物の実績値があって、そこから何トン削減する目標があって、その中身が紙ごみの削減であるというロジックを立てないと、目標を新たにたてる意味がはっきりしない。なので、紙ごみの削減しか書いていない。これは重点施策であって、目標値としてあるべきかが疑問があることを言いたい。
事 務 局	事業系の組成調査は行っているか。
委 員	事業系の量は把握しているが、そのなかの持ち込まれたごみの組成調査というの は行われていない。展開検査というの はしているが、全部のごみまでは行っていない。
副 部 会 長	ちなみに日進市の分は、どのようにわかるのか。
委 員	基本的に事業系ごみというのは、そのなかに燃えないごみが入っていると産業廃棄物になるので、そういう法律的な検査はするが、紙ごみがどのくらい入っているのかという組成調査は行っていない。
副 部 会 長	私が聞きたかったのは持ち込まれる対象で、事業者が持ち込むときに、事業者というのはあちこちから来ると思うが、日進分は確実に把握できるようになっているという考えであるか。
委 員	日進市が許可をだしている
副 部 会 長	日進市に許可された事業者の分がいくらということであるか。
委 員	車両番号で把握しているので、それはあくまでその車両が運んでくるものは日進市で廃棄されたものとしてカウントしている。

発 言 者	内 容
部 会 長	今の議論を考えると、目標6は事業系ごみの削減として、1,100トン削減、中身は紙ごみの削減だと、このようにすれば反映できるように考えているが、そのような修正ではいかがか。
副 部 会 長	よいと思う。そうすると、実績値が書け、それに対してこれだけ減らすというのがはっきりするので、そのほうがよいと思う。あとで検証すると思うが、それを使って検証すればいいので、そうしていただければいいと思う。
事 務 局	現状は組成調査を行っていないので、この部分のデータを取るには事業所に協力をいただき、モニターという形で量を探っていくという形で行っていくしかない。
副 部 会 長	今後の取組みの方針に入ってくるころだと思う。
委 員	その資料は、資料4と関連しているか。
事 務 局	関連している。
委 員	1と5の違いがよくわからない。1の目標の中に水分の削減が書いてある。しかし5の追加のところにも水分削減と書いてある。追加というのがどのような意味なのか。1でやっているのに目標で、5に追加は、同じ項目になっているが、違うのか。
事 務 局	5の追加については、2は家庭から出る燃えるごみと粗大ごみ、粗大ごみを抜いたものが5である。これは日常的な身近なわかりやすい資料ということで、付け加えたほうがいいのかということ、5を追加した。
部 会 長	資料4の目標5は、目標1の中身なので同じ施策が入ってくる。目標5をたてたのは、策定委員会で意見が出た。それを受けて、先ほど発言があったが、日常的に家庭から出るごみの量を減らすことをわかりやすくするためにあえて出したほうがいいのかという議論があった。
副 部 会 長	提案であるが、順番でここにあるからわかりにくくなるというのがあって、2の次に5をもってきて、2-2など、というようにすれば、これの関連であるというのがわかり、日常的な市民の指標として、これを使うということを書けばわかりやすいと思う。生活排水処理工場は最後の方がわかりやすい。
事 務 局	目標2の中に5が入ってくる形のほうが理解いただきやすい。最終的に成果品はいろいろな文言が入ってくる。ここにも合わせて、説明するような流れにしていきたい。
委 員	1, 2, 5はやり方が違うだけで同じことである。全体量で一人当たりと、その一人あたりも、1日あたりの内訳なので、目標が6個であるが、実際、ごみとリサイクルと生活排水と、事業系ごみ、そういう使い方で1, 2, 5が一つのグループのほうが、なんかわかりやすいような気がする。
事 務 局	目標1については事業系も入っている。目標2は家庭系のみである。
事 務 局	言葉だけでわかりにくい。どこがどう重なり合っているのかそれぞれの関係がわかりやすいように考えていきたい。
委 員	5は2の内訳である。
事 務 局	他の項目についてご意見いかがか。それでは、項目はこの6つにするということを決めたいと思う。順番、表現は検討いただくことにする。目標6の事業系紙ごみの削減は、事業系紙ごみを除いて事業系ごみの削減として、目標を掲げる。続いて、目標

発 言 者	内 容
	値について説明をお願いします。
事 務 局	(事務局説明)
部 会 長	それでは、ただいまの説明をもとに、目標値、施策について説明があったが、何か意見はあるか。
委 員	資料1-1であるが、説明欄の下から3個目のHの目標1の5,521から221、48を引くと答えは、5,216になるのは何かほかの要素があってそうになっているのか。
事 務 局	正しくは、5,252です。
委 員	もう一点、例えば今の説明項目の上から4つ目のGの目標1がある。そこに、家庭系の17,158があるが、これは、水切りの効果というところに関しては、資料4の8.6%でやっていると思うが、元の8年の推計値は、その時に5%削減でやって、この数値が出ている。水切りで5%を削減すると、推計値で令和8年の家庭系で2,267がでていたと思う。資料1-2の年間ごみ推計値の22,679tというのは水切り5%した場合、こうなるという数字ではないのか。
事 務 局	実績値、資料1-1の21,620、こちらから人口の伸び率をかけたものが将来推計である。
委 員	例えば上から4つ目のGの1は、家庭形17,158というのは、前の時の将来推計で水分5%削減するとこうなる数字ではないか。前の見直しの数字か、水分量5%を削減すると、こういう将来推計になるという数字ではないのか。
事 務 局	実績値を基に出したものである。
委 員	前の見直しの時の数値も同じか。
事 務 局	前の見直しは水分削減の結果は入っていない。
委 員	今の計画では水分削減5%は出ている。その時計算した数値がこれだというイメージがあったが、それではないということか。
事 務 局	令和2年度の実績値で、生ごみ5%の理想値との比較はしない。
事 務 局	実績の数値だけで、実際5%削減を実現できたらどうなるのかはコメントの中ではしない。
委 員	将来推計の17,158から引いた数字がここになる。これは、将来推計は5%の削減が入っていて、この数値をはじいていると、そこから8.6%の水分削減を引いていると、13.5%水分から13.6を引いているのではないかと思った。
事 務 局	ここには生ごみ5%削減が書いてあり、その中に水切りのことをやってきて、アンケートを取ったら、27.7%の人が水切りをやっているので、それを除いたほうは効果があるということで、重複しないほうが良い。
委 員	将来推計は、5%削減したらというのをはじいて17,158が出る。それから今回の5%削減したらこのようになるという数値になっているだろうか。
事 務 局	今の計画をやってきた結果、令和2年度のごみの量が出ていると。そうすると令和2年の実績が引いてあればわかるようにしたが、例えば家庭系の数値から引いていくのはわかるが、G1は将来推計から引いている。実績からではなく将来の推計から数値を引いている。

発 言 者	内 容
副 部 会 長	この将来推計は、R 2の実績値を人口拡大したということで、R 2の実績値 21,620が将来推計のもとになっているので、おっしゃっているように使えるのではないかと 思っている。人口だけの拡大であるので、R 2の実績をもとにした将来推計と言っ ているが、将来実績推計だと思っている。だからそこから新たに施策を付け足そうと考 えようということで、事務局は説明していると思う。
委 員	今は5%を取ったものは関係ないということか。
副 部 会 長	その結果が今の実績値のR 2がある。
委 員	そうするとまた、8.6%削減しろという、なんだかプラスになると思えてしまった。
副 部 会 長	そういう意味ではプラスの施策だと思う。
事 務 局	前回の見直しの時点からの比較をすればどうか。
副 部 会 長	5%削減を行うという結果がどのように表れたかはよくわからない。
委 員	5%達成したからの数値ということではないという意味であるか。
副 部 会 長	それはわからないのでとりあえずR 2を基準としてこれからプラス何%をしたらど うなるかをここで話している。
委 員	了解した。
副 部 会 長	資料1-1で、54自治体中12位というのがあるが、これは何の数値で12位になっ ているのか。
事 務 局	一人一日当たりの家庭系ごみの量の数値である。
副 部 会 長	それはわかっているが、実績値なのか、目標値なのか理想値のどれなのかを聞いて いる。
事 務 局	令和元年度の実績値である。
副 部 会 長	どこかに実績値を入れたほうがいいのかではないか。それから資料3-2の、%で議 論しているが、たとえば、水分、生ごみの組成割合が増えているとか、生ごみが25% 増というのと、新聞紙段ボール含む紙のリサイクル率が25%増とあるが、この25%は 割合で25%増であるか。実際の量としてどうなのか。量として増えているのか知りた い。生ごみが25%増加したというのと、新聞紙段ボール含むリサイクルできる紙類が 25%増とあるが、割合を引き算したとすると、それはわかったが、実際の量はどの くらい増えているのかが聞きたい。なぜそんなことを言っているのかというと、他の 割合の検討で、実数は減っているかもしれない。25%も増えていないのではないかと 思ったからである。数値のデータはあるのか。
事 務 局	組成調査の総量からの比較ではなく、年間の生ごみからの比較です。
副 部 会 長	総量がしりたい。同じような総量のサンプルを使ってこうなっているというの も大事なことであり、それを市の家庭から出る傾向としてとらえていかどうかとい うのもあるので、大きな施策をうつベースの数値になる。どの程度の正確性があるの かはっきりさせておかないと、曖昧なものでしかなければそれはそれで、このように 考えられると思う。そのあたりの数値的な根拠、曖昧性をしっかり確認しておく必要 はあると思って聞いた。
事 務 局	組成調査の総量が比較できるかどうかである。

発 言 者	内 容
副 部 会 長	<p>それと、こういう結論を比較して、生ごみが増えている、段ボールリサイクルできる紙類が増えている、だからこの施策をたてるというロジックで大丈夫なのかどうかの確認をお願いしたい。そうではなく、生ごみが多いので、頑張るというロジックのたて方もあるはずなので、施策を変える必要はないが、なぜこれを立てたのかということとどこにどのように書くかということは分析上大切なことであるから、確認して、適切なロジックにしてもらいたい。あと2点ある。資料4の単位がわからない。再掲に削減予測 12 グラムとあるが、いきなり削減予測 75 トンと書いてあって、何をどのように見ればわからない。例えば目標2にというのは1日当たり家庭のごみ量になっているが、それに対してというなら統一してもらいたい。目標5もそうであるが、約5トンと書かれても困る。これは統一してもらいたいし、要はg/日で統一して、単位も書いてもらわないと何を言っているのかわからない。細かいことであるがお願いしたい。資料6であるが、実験の出典を明記してほしい。誰が行ったのか、委員の名前を出してよければ、名前を記載したうえでそれに基づくというようにする必要があると思う。もし個人名が嫌だとおっしゃるなら、部会名でも構わないので、部会で実験を行ったのでも構わないが、どちらでもいいが、委員と相談のうえで決めていただければいいと思う。せっかく貴重なデータを出していただいているのに、これはどこがやったのかという形になってしまう。もう少しいうと委員のご厚意でのほうがいいと思う。</p>
事 務 局	委員のお名前載せてもいいですか。ありがとうございます。
副 部 会 長	とりあえず気が付いたところは以上です。
委 員	<p>資料6はこの間までのものですが、まだ続けて行っていると思っている。これは梅雨時のものだが、梅雨が明けた後もやっている。半分以上、袋が4つしかないので、3つあるいは、4つでの資料になってしまうが、晴天続きだと半分以上水分が抜けている。これはごみの出す量にもよるが、私の実施方法ではなるべくごみを出さないようにしたいと思って、買ってきたらすぐに調理する。ほとんど皮もむかず食べている。保存食を作ったり、作り置きをしたり、その日に買ったりすることをやっているの、普通に出るごみは少ないので、もし誰かがやってみようと思ったなら、私は少ないので、網を使ってやっているが、そこが平たいものであれば、もっと乾くのではないかと。水分が多いのは夏の野菜だろうか。夏野菜は水分が多い。私の干した感想であるが、蟻も寄ってこなかった。袋をぶら下げてやっているの、直に置くよりもハエも寄ってこない。</p>
事 務 局	委員のやり方で、イラスト的なものも載せていきたい。
委 員	<p>資料3-1、3-2のところであるが、資料2に書いてあるが、27年度は1か所あたり10袋の燃えるごみを6か所、計60袋である。令和2年度は30袋でやっていると書いてある。私も他の市町でそのような調査を行うためこれの辛さはよくわかっているが、数が減っている。これは時間の調整、人の調整もあり、減らしているのだろうか。これは担当の職員がいらっしゃるのか。</p>
事 務 局	委託に出している。
委 員	どうしていいのかわからないごみがある。割合が多いほうが正確な数値になると思

発 言 者	内 容
	うので、できる限り 60 袋を継続したほうが今後の資料としてはいいのではないかと。
部 会 長	私が担当しているのは 100 もあった。20 では少ない。
事 務 局	予算確保をもっと積極的に、なぜ必要なのかをアピールしたうえで、しっかりした数値に近づけるためには、回数は少ない。
委 員	つらいのは重々わかる。これ以上は、予算が大変だと思う。
事 務 局	減らした理由としては予算の都合があった。あとは我々の考え次第だ。
委 員	同じように、この資料もどのくらい行ったのかわかるといい。27 年度は 60 袋で令和 2 年度からが 30 袋ならいいが、他の資料はどのくらい行ったかが気になったので示していただけると嬉しい。
部 会 長	瀬戸市の組成調査は、うちの研究室で開けている。生ごみは 100 袋開けている。不燃系は 50 袋開けている。半日つかっている。弁当とお茶しか出さない完全なボランティアであるがやっている。学生からは言われるが、いい経験で、毎年行っている。
事 務 局	職員は、現場で放置されたもの等を回収して身元の分かるルール違反のものは触っているが、できればデータとして残せるようなものは必要だと思う。上手に数値が利用できる仕組みをもう少し工夫していかないといけない。
部 会 長	他に意見はないか。私から意見を言わせていただく。議論があったが、紙のリサイクル、段ボールも含めて、減っているのは、リサイクルステーションが民間のものが増えたからということ、実際はそうである。下がったおおよその量が、平成 28 年度から令和 2 年度に比べると缶の回収量が 1,700 トン減っている。それを 1 日一人当たり 48 グラムである。令和 2 年度の実績値が、一人当たり 484 グラムである。この値は、目標値を比べると 483 とほとんど一緒で、達成しているように見えるが、紙の量を考えると実際には 50 グラム増えていると思われる。1 人あたりざっくり言うと 1 割くらい増えているのではないかとと思われる。市がリサイクルで、回収しないリサイクルされた紙の量を考えると一人当たりのごみの量は +50 グラムくらいあるのではと思われる。このことを考えると決して減ってはいない可能性は高い。新しい目標値が 469 グラム、右の H のところで、前の目標値が 483 であるから、14 グラム減らすというように変える。5 年前に設定したものから、14 グラム減らすような高い目標に設定をする。それはいいが、中身を見ると、もっと減らさないといけないことになるので、十分に心得て、かなり厳しい値であることをどう表現するかはできないが、3, 40 グラム減らすようなことになると思う。中身は、しっかり考えればこうなるのではないかと。数値を変更しろということではない。それから、事業系の削減は初めて触れるので、慎重にやっていかないといけないが、絶対に必要ではある。紙のリサイクルを促進することに関しては、事業活動を阻害するものではないので、丁寧に伝えていくことは考えてほしい。事業活動を制限するようなことはしないことを伝えてほしい。これは自主活動になるので、頑張ったところに、何かステッカーを貼るとか、SDG s の活動を積極的に進めているシールを貼るなど、それが本当の施策だと思う。紙類の資源回収方法の啓発とあって、啓発というのは、どのようなことをするのか、丁寧に書かないとパブコメで市民の意見を聞くときに、何を聞かれているかわからないことになるから、丁寧に表現したほうがいいと思う。家庭の紙類の資源回収方法の検討が施

発 言 者	内 容
	策にあるが、検討は施策とは言えない。何を示しているのか。検討することは施策にはならない。どのようなことを考えているのか。何ヶ所か書いてあるので検討という表現はだめである。
事 務 局	その文言は削っていく。
部 会 長	意見をもらう時にこれでは聞けないので、これも要検討だ。電動生ごみ処理機の項目が相変わらず残っている。これ自体はいいが、予算はどのくらい組まれるのか。
事 務 局	1基1万円で、コンポストは1500円。
部 会 長	ここに50万をかけるのであれば、他のところにかけるべきだと思う。ごみ処理1トンについてかかるお金は2万5千から3万ではないか。直接の処理機は1トン当たり1万2,3千くらいであるか。
委 員	こちらは前年度で2万3千かかっている。機材運営費で、昨年で1トン当たり2万3千円。
部 会 長	5トンだと12万、価値の比較は良くないかもしれないが、ごみを減らすことと、コストはイコールではないかもしれないが、50万かけるのであれば、他にかけたほうが有効ではないかと思う。あえて残すことを検討したほうがいいのではと思う。今の議論は、ごみ処理機の量を削減することが重要だと、もちろんごみの量の削減も重要である。両方あるが、実際には処理費を削減したいというのが大きな動機である。そうであれば、補助金50万円と処理費10数万を合わせるともっと他のところで使えば、より大きな効果が生まれるのではないか。もちろん最初に目標を立てたときの流れや、当時の市民の意見があったのは承知しているが、見直してもいいのではないか。当時は年度処理費を補助すると、何トン減らせるかという試算がなかったと思う。効果をちゃんと計算して、5トンというのが出ているので、費用対効果がおおよそわかった。事業系に充てるなどを考えてもいいタイミングだと思う。議論がされていないと思う。最後に、6月4日にプラスチック資源循環促進法が国会で成立した。1年以内に施行となっている来年の6月4日までに施行しないといけない。それに対して市町もよくわからないがやらないといけないということになっている。それに対してどうするかも触れないといけない。日進市も回収しているのでいいが、このことを何も言わないのは情報発信不足ではないかと思う。新しくできたものに対応していることは言わないといけない。日進市は対応しているから安心して下さいということと言わないといけない。環境関係に関心が高い人は注意を払っているから何か情報発信はしたほうがいい。日進市は早くに対応していることを言えばいい。
事 務 局	成果品の最初に、世界の動き、日本の動きという中で載せていこうと思っている。パブコメには載せた形で出したいと思う。
部 会 長	今日ここで議論できるかわからないがどうしても生ごみ処理機については外せないと思う。
事 務 局	費用対効果を否定するものではないと。
部 会 長	限られた予算の中で効果を高くしないといけない。
事 務 局	他の例からいくと温暖化対策もあるので電気をあまり使わないことを並行して、そのような面からも進めていきたい。

発 言 者	内 容
部 会 長	今回は議論できそうもないので、次回の議論に上げてほしいと思う。過去の実績も含めて、実績を見ても議論するところがないので、昨年度くらいの実績を出してもらって、費用対効果を考えてどうするかを皆さんで議論してほしい。紙についてはどうするか。
副 部 会 長	その件は最初に部会長からご指摘があり、紙は外に出ていくので実際には増えているのではないかという話があったと思う。多分、コロナ禍で生活スタイルが変わったということで、ある意味致し方ないと思っている。それは、ごみ出しの実態はどうなっているかのデータがないので、推計値に過ぎない部分もある。R2の1日1人の864グラムがどのような意味を持っているのか評価をしていく必要がある。28年の見直し目標値がある。483グラム、R8目標に対してR2で一見達成しているように見えるが、本当は違うかもしれないという指摘もある。議論の過程で指摘が実際にあった。それは議論の結果として、その評価もありうるということで、安心すべき数値ではない。今見直しにあたって、R2時点の数値の評価はどう見るか、というのを今ここでやっているわけで、それはまとめていただいたうえで、今後の改訂計画の中で記載する必要はあるかと思っている。例えば、リサイクル率についても、目標達成できていないが、それは、こういう意味であるということをお願いであり、全体の統計的な数値なのでこうなるという話もあった。そのあたりも含めて、実績値を評価する場が必要だと思う。そのうえで、見直した結果、目標項目と、目標値を作ったという流れにしないと、集まった甲斐がないという話になるので、計画書の最初で書かれると思うが、今までの経緯と評価については、色々な推測の域もあると思うが、それは仕方がないので、それも踏まえて、皆さんも頑張ってもらっているが、達成したからと言って喜べる状況ではないというか、表現はいろいろあるが、何を市民に発信していくかの原案を考えてほしい。
事 務 局	数値だけで作成もできるが、どちらに向いているのか、わかってもらうようにしなくてはならない。
副 部 会 長	そうすれば部会長の指摘した部分というのは、市民に発信できるのではないかとと思う。
部 会 長	最初はおかげさまで、達成したことは言わないといけない。他にいかがか。
委 員	資料3-2がいろいろ細かく書かれておりグラフを見ると生ごみが多いことがわかる。量はどうかという発言があったが、他はどうなのかと私は思い、これだけあるのかと思って、3割強は生ごみが多いというのが、どこの市町もそういう傾向がある。これを減らすために委員がやっていたような天日干しにしてということで、そういったことをもっていけば数値もクリアできるのではと思った。この表を見て思ったのが、紙おむつが多いと思った。リサイクルできる紙も10%、新聞紙も入っているのに分別をすれば、リサイクル率も上がってくるのでいいと思う。そのあたりも取り入れてもらえればと思う。紙について言うと、検討という話があったが、日進市の回収所の5、6か所に持っていく感じであるか。
事 務 局	そこは民間である。
委 員	日進市はびん、缶、ペットボトルと細かくあるが、紙だと民間だけである。

発 言 者	内 容
事 務 局	あとは子ども会の回収である。
事 務 局	計画収集はやっていない。
委 員	新聞や古雑誌、段ボールなど結構出ると思うが、そのあたりのインフラの整備は前も言っていたが、日進市は大きくはないが、4つの地区に分けて、そういったインフラを整備できる、リサイクル率も上がるのではないかと。名古屋市がどのようにしているかはわからないが、豊田市はある一定のところにもっていけばなんでも出せるから、日進市だとどこへ何をもっていけばいいのか、そこの住人だったらわかるが、他所から来た人は段ボールや雑誌をどこにもっていけばいいのかわからないから、捨ててしまうというのも実際あるのではと思う。逆に言えば新聞紙とリサイクルできる紙など、生ごみを委員のような方法を取ればもっと減るような気がする。
事 務 局	他の市町は、エコドームのようなものはなく、たとえば市民会館や公民館のところで、何か月間かに1回は環境課の方が回収の場を設けて、日進市は常設をしておりほかの市町と違う。
委 員	これについて日進市としては、紙は専らという扱いだと思うので、事業系が入ってきても、問題ないという考えであるか。例えばエコドームに事業所にトラックが来て紙を置いても問題ないのか。
事 務 局	あくまでも家庭からの搬入を想定している。
委 員	先ほどの話だとどこにもっていけばいいか、事業所のPRをしていく時に、どこにもっていくかというのがないと思うので、私としては、これは専らという考え方をすれば事業所、家庭系関係なく持って来てもいいと思う。逆に日進市のほうから、別の場所でもいいので、事業所はここにおいてくれというのがあれば事業所も持っていきやすいと思う。そうでないとまた無人ステーションに持っていかれて数値がわからないことになるので、できればそういうのがあるといいと思う。
事 務 局	発想としては施設的なもので、そういった意味では、今いろいろなものを改修しているなかで、協力できるところは、スペースをお借りしながらやっている。
委 員	組合は事業系の段ボールなんかは今までは事業系はだめだということで、お客さんが、例えば花屋さんが使用した段ボールもごみとして入れていたが、それは良くないということで、事業系も資源ごみに出せるようにしている。
事 務 局	先ほど触れられていたが、紙おむつの問題も、今後問題となってくるので、触れていこうと思っている。今後の割合が増えてくる可能性が高い。
部 会 長	日進市は、このデータを信用すると全国平均の倍以上はある。全国平均は6, 7%あった。
事 務 局	その内訳が大人によるものか子どもによるのか。
部 会 長	全国平均と比べると倍ある。
事 務 局	リサイクルしている例もあるので、県内の紙おむつを、引き続きしていく。
部 会 長	紙おむつに関しては日本紙おむつリサイクル協会があり、私はそこに関係がある。事務局が名古屋市にあり、その活動に加わっている。必要であればいつでも良い。
委 員	出し方のルール、紙だから何でもいいということで出す人もいるかもしれないので、

発 言 者	内 容
	ルールの啓発が必要になってくる。
事 務 局	紙と言ってもいろいろあるので、集めるべきものはどういうものなのかを、何故集めるのか、わかりやすいものは考えていきたい。
委 員	やっておかないと市民の気持ちが緩んでくると思ったので、出だしでしっかりと市民に伝えなくてはならない。
事 務 局	ご協力を得るということで、それはいいが、市民の皆様に負担をかけることになるので、過度に意識を変えるものではなく、リサイクルに協力してもらいやすい方面での変え方を、心がけている。実は尾三衛生組合管内でも出し方がバラバラだったのと、前回の計画の見直しの中で、燃えないごみ袋というのを3市町で考えて進んだ例もあるので、そこで今、プラスチック容器を集めさせていただいたり、今後は国の施策によって詳しく今後どうするかというのを真剣に考えたりしているので、このエリアの方で、愛知県で先駆けてリサイクルをする。
委 員	そういうやさしさの中で進めていくので、この目標は達成できるのか。
部 会 長	リサイクル可能な紙の20%をリサイクルに回すということを目指しているのですが、2割くらいはできるのではないかと。
委 員	私は子ども会に出しているが、20%は絶対にクリアできると思うが、もう少し、みんなにきちんと出してもらおう方法を周知した方が効果は出ると思う。
部 会 長	20%の値もここで決める。50%のほうがいいのではないかとということも含めてここで議論している。2割は事務局と原案をつくったということだが、高い目標を掲げてそれに向かって施策をこの5年間進めていくと、当然そういうこともある。
委 員	全体を見ていないのでわからないが、もう少し高くてもいいのではと思う。
部 会 長	そういうご意見はあったと思う。
事 務 局	紙については業者においても、資源として使えるかが、そこがやはり近年、価格の変動が大きいのでそれで率が大きく動く。そこも着目しながら、達成できる目標値というように考えていく。あとは数値ばかりを目標にするというのは、リサイクルに回せるような出し方を考える。集めたものを100%リサイクルできているかというところから弾かれるような状態のものも結構ある。そういったところにも重点を置いて考えていきたい。
部 会 長	大学も雑紙を集めているが、トイレトペーパーで回ってくるが、お金を出して変えてもらっている。リサイクルするときにお金をもらってリサイクルしてもらおう場合と、出してリサイクルする場合の2つの場合がある。その説明が不足しているので、そういうことを聞きながら判断をしていく必要があると思う。ペットボトルもほとんどお金をもらうことはできない。ペットボトルは、昔はお金が入ってきていた。リサイクル協会を通しての話であるが、今は終始ゼロである。日本の状況はそうなっている。
委 員	これから少しずつ価値が上がっていく。今のペットボトルは、最近コカ・コーラは全部リサイクルペットに代わっているのですが、国内循環してから価値は上がっていくと思う。
部 会 長	海外に輸出できなくなったので、国内にたくさんたまっている。他にいかがか。

発 言 者	内 容
委 員	お客さんに、何故水切りしなくてはいけないのか、なぜこんな汚いことをお客さんに求めているのかをアピールというか、HPでもいいが、お客さんがやってくれると日進市の負担金が減るので、福祉に回せるなど、現実的なことを書いたほうがいい。これを作って水切りをお願いしますと言ってもなんでしないといけないのかと思う。そういうことは一個ずつ、例えば不燃物でも何でもいいが、ごみとして埋め立てられるとほぼ価値がなくなる。そのまま家電製品に出してもらおうと売却できるという具体的なことを市民に教えると、協力的になってくれる。
事 務 局	ガイドブックのような感じで情報がてんこ盛りになったのもあるので、現在、試みているのが動画を使って、SNSなどの媒体で出し方、ごみの処理がどういうルートでどのように処理されているのか、示して案内していくような、そういったものを、今後伝え方を色々な媒体を使ってやっていく。
委 員	お金がこれだけかかるということを市民の方に隠しているというか、これだけ税金がかかっているということは隠すことではない。だから金額は出してもいいと思う。
事 務 局	出し惜しみしているわけではなく、伝え方が下手である。
部 会 長	貴重な意見だと思う。年間、市民一人当たりで1万円くらいである。もう一つの自治体は、全体当たりいくらか、収集費などおおよその内訳も書いていて、有料化している。有料化の時はお金が重要なので、きちんと公開をして対応していくということを、1万2,3千円くらいだったかと思う。
事 務 局	そういうことも市民に伝えるべきだと思う。
副 部 会 長	1人、1年いくら払っているか、目立つように表紙に書いておく。デザインなどで気づかせるという手法を、ナッジというが、それを活用して、日進市では広報や媒体を既存のものをたくさん持っている。SDGsもいいが、本当に伝えたいことや、その気になって動いていただくことがあったほうがいいと思う。1人、1日いくらごみで払っているという書き方でもいいと思う。ごみひと絞りいくらでもいいし、「ああそうだったな」と思ってもらえるように、デザインを考えることは大事である。
事 務 局	要は仕掛け学、きっかけを示して、伝え方に重点をおいてやっていきたい。今、3市町の経費の比較を行っている。どこが頑張っているのか一目でわかるような出し方をしているので、そういったことを合わせながら、お互いに刺激しながら3市町で行っている。伝え方については提示していく。
部 会 長	1袋いくらつかっているかというのはどうか。ここにあるデータは1袋1003円くらいかかる。4キロぐらい入っている。高いか安いかは人によって違う。伝え方も考えておくべきである。
事 務 局	ごみを出さない方はいない。
部 会 長	他にいかがでしょうか。傍聴から意見はあるか。
傍 聴	中身の濃い皆さんの発言があり、傍聴してよかった。こんなに刺激のある議論をされている議会はあまりない。1人いくらかかっているかを表紙に載せるのはすごくいいPRだと思う。もう一つは委員からの天日干しの件であるが、実際にやったものをあのようにデータ化されたものを見て感激した。天日干ししてごみを出そうと思ったことがなくて反省している。

発 言 者	内 容
傍 聴	パンフレットに金額だけだとイメージしやすすくないので、例えばジュース1本が110円と仮定して、何本買えるといった具体的なものに例えたほうが、若者は大きな金額を普段使わないのでイメージしづらいので、身近なものでイメージしやすくするとよりわかりやすいと思う。
傍 聴	天日干しの話があったが、ごみの量が減るのに驚いたが、自分の家でやるかという、ハードルが高い。どのように干せばいいのかわからない。具体的に写真などで目にする機会があればわかるので、具体的にわかるとよい。
傍 聴	日進市はエコドームができたときは環境先進都市と呼ばれていて、一人当たりのごみ排出量が低かったということがあったと思うが、人口の増加とともに、もちろん全体の量が増えている中で、半田は4月1日にごみ袋の値段を上げて、負担量を上げた。そうなってくると市民は初めて真剣に考えるが、今処理されているところが、自分の税金でどれだけというのは結び付かないので、数値を出して、説得力を出して示すことは必要だと今日話を聞いて思った。
部 会 長	今の意見も十分に考慮して次の議論にしたいと思う。委員から意見はあるか。議題に関しては、ほぼ意見が出たということで、議論は終わりたいと思う。今日の議題はこれで終わる。ではその他に移る。事務局から何かあるか。
	3 その他
事 務 局	(事務局説明)
部 会 長	(あいさつ)
	閉会